バックス情報システム株式会社「データセンター」竣工記念対談特集

テーマ「活力ある産業拠点都市いわき市におけるICT産業の発展」

対談　いわき商工会議所会頭　小野栄重氏 × バックス情報システム株式会社代表取締役　鈴木雅之氏

バックス情報システムとは

小野会頭　この度のデータセンター竣工、誠におめでとうございます。館内を先ほど視察させていただき、想像以上にセキュリティーが強固で、データ保全のための設備が具備されていることに驚いています。鈴木社長は当商工会議所の議員で、情報通信業部会の常任委員も務められていますが、具体的な業務内容について再度説明いただけますか。

鈴木社長　弊社は平成9年10月、植田町で創業いたしました。創業以来「地域企業様の電算部門を担う」を合言葉に、コンピューターのソフトウエア開発からネットワーク・セキュリティーシステムの開発、運用、維持管理まで、広範囲にわたって高度なサービスを提供しています。

いわき商工会議所地域振興ビジョンについて

小野会頭　いわき商工会議所では本年度、2020年を見据えた「地域振興ビジョン2014～福島県浜通り都市圏の復興を支える産業・生活拠点都市～」を発表し、その上で「いわきの強みを生かした新規産業・成長産業の振興」を目標の1つとして掲げています。貴社はICT（情報通信技術）産業の分野で、まさしく成長産業の位置づけにあります。貴社が考えるICT産業の今後をお聞かせください。

鈴木社長　清水市長は、「原発廃炉・ロボット産業」や「バッテリーバレー構想」など、復興に向けた新規産業を具現化すべく努力されています。私たちの産業は、あゆる産業を下支えする、もちろん新規産業を支えるのもICT産業です。いわき市は仙台、東京の大都市まで2時間足らずの立地条件にあり、近郊には多くの工場や拠点が数多く立地しています。いわきはICT産業の素地に恵まれた地であると確信しております。

小野会頭　ICT産業は伸びしろのある成長産業であることは理解しました。では、どのような形で地域貢献されますか。

鈴木社長　ICT産業、特にソフトウエア部門は技術者が財産です。従業員が多ければ仕事が受託できます。ICT産業の成長は雇用の拡大と比例する関係にあるので、多くの雇用を生み出せます。また、いわきに戻りたいと考えている若者への就業機会の提供にも繋がると考えております。

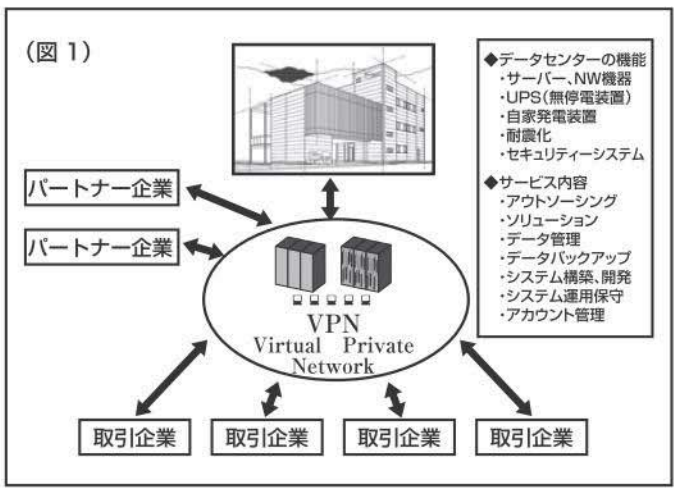
小野会頭　アクションプログラムの中にも付加価値の高いICT産業の誘致・育成、若者雇用に有効な情報産業の誘致を位置付けていますので、連携して進めて行きましょう。

データセンター事業について

小野会頭　大手のデータセンターをイメージするのですが、貴社のデータセンターの事業形態をご説明ください。

鈴木社長　弊社データセンターの事業形態＝図1参照＝は、取引企業様やパートナー企業との連携強化を図ることを目的としています。設備機能に関しては、企業様のBCP（企業継続計画）への取り組みに応えられるサーバーやネットワーク機器、無停電装置、自家発電装置を具備しています。また、情報漏えいを未然に防ぐセキュリティーシステムを導入していますので、データ保全は確保されています。サービス内容は、地域の企業様のデータ管理は勿論、システム企画から構築・運用管理までのコンピューターシステムに係る業務を、顔が見える〝オンサイトサポート（直接現場に派遣するサービス）〟で支援いたします。これが大手さんとの違いです。

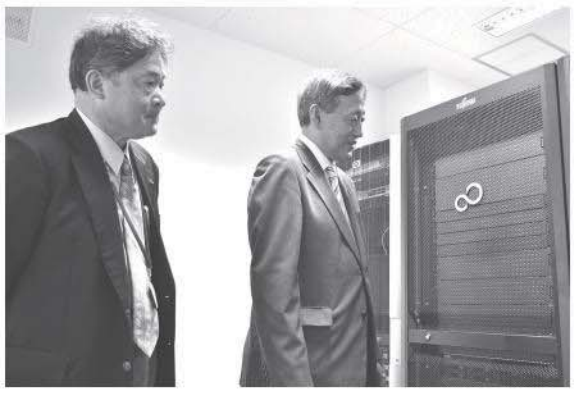
（図1）



ICT産業推進に係る商工会議所の方針

鈴木社長　商工会議所のアクションプログラムの進め方について、おうかがいしたいのですが。

小野会頭　正木好男副会頭が座長を務める経済政策研究会で、部会と常置委員会の意見反映を図りながら、現在、深掘りした具体的なプロジェクトの作り込みを進めています。また、いわき市、市議会の理解が重要で、先般、清水市長や市議会との懇談会を開催しました。



いわきICT連絡協議会の設立

鈴木社長　弊社は東日本大震災からの復旧・復興の途上にある福島の企業として、「ICT産業部門での地域貢献」が責務。私はいわきに生まれ、いわきで起業しました。同じく郷里を思いながら全国各地で働く方々に、戻っても安心して生活できる雇用機会を提供することが最大の貢献と考えています。そして地域とともに生き、仕事は全国、世界というICT産業ならではの未来を、これからの若い人たちと共有したいと思っています。現在、この郷里復興への思いを共有する地元ICT企業のリーディングカンパニー、（株）東日本計算センター社長の鷺弘樹様、いわき明星大学教授の竹中久雄様、高山文様たちと「いわきICT連絡協議会」の設立を目指しています。ぜひ、小野会頭をはじめいわき商工会議所のご支援をいただきたいと強く願っています。

小野会頭　大学、高等専門学校の存在はいわきの強みです。産学連携のもとに企業の技術力向上、新商品の開発、新市場への進出などを盛んにし、企業の経営力を強めていくことは非常に重要であると考えます。いわきICT連絡協議会には期待していますので、できる限りのご支援をさせていただきたいと思います。

終わりに

鈴木社長　福島復興の一役を担うICT産業の企業として、データセンター竣工を契機に福島県の復興に大きく貢献したいと考えております。

小野会頭　いわきから若者が東京へ出て行く流れを何とか食い止め、いわきで就職、結婚し、子どもを産み、育てていきたいと思うようなまちづくり、人づくり、仕事づくりを進めなければなりません。いわきの復興、福島の復興に向け、鈴木社長の力強いリーダーシップのもとに社員の皆さまが一丸となり、御社が限りない発展をされますことをご祈念申し上げます。本日は、誠におめでとうございました。

ごあいさつ――バックス情報システム株式会社

代表取締役　鈴木 雅之

バックス情報システムは、昨年7月に「第3次ふくしま産業復興企業立地補助金」の採択を受け、本年8月末、無事に本社社屋内にデータセンター棟の竣工を迎えることができました。

弊社は、震災からの復興途上ある福島県の企業として、データセンター事業を核にお客様と共に成長し、生活の基盤である雇用の拡大、福島県のICT（情報通信技術）産業のさらなる発展を目指し、全力で事業に取組んでまいります。

プラスアルファの発想でベストソリューションを提供します。

バックス情報システム株式会社

BACS

福島県いわき市小名浜大原字丁新地 211-1
TEL:0246-92-0333㈹ FAX:0246-92-0369
http://www.bacs-j.co.jp/

RenraKing 連絡王
携帯メール一斉配信／災害時の安否確認
http://www.renraking.jp